

〔海況概要〕 (令和5年 8月17日～8月23日)

今週の本県近海の表面水温は、27～29℃台を示し、平年並み～やや高めでした。

〔漁況概要〕 (令和5年 8月17日～8月23日)

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり24トンの水揚げで、前週の58% (前年を上回った)。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の1.2倍 (前年並み)。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり4kgの水揚げで、前週並み (前年を下回った)。壱岐勝本地区では1日当たり62kgの水揚げ (前年を下回った)。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり83kgの水揚げで、前週の1.6倍 (前年を上回った)。壱岐勝本地区では1日当たり1.7トンの水揚げで、前週の5倍 (前年を下回った)。
- 定置網――五島有川地区では、マアジなどが1日1統当たり6kgの水揚げ。対馬西岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり46kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カマスなどが1日1統当たり360kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり102kgの水揚げで、前週を上回った (前年並み)。野母地区では、マアジが1日1統当たり18kgの水揚げ (前年を上回った)。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期 (8/19～8/23の5日間) 沖合イカ釣 (船凍船) は、大和堆周辺及びロシア海域に入域。赤イカは1航海最終船販売、次航海は一部日本海向け。沿岸イカ釣 (氷蔵船) は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。鳥取県西部 (沖合船) 4日延37隻、総計4,361箱、1航海最高428箱、平均117.9箱。スルメイカ (20～40入) 4,060箱、ケンサキイカ (2～4立) 301箱の混獲となった。
(漁業情報サービスセンターより)

〔お知らせ〕

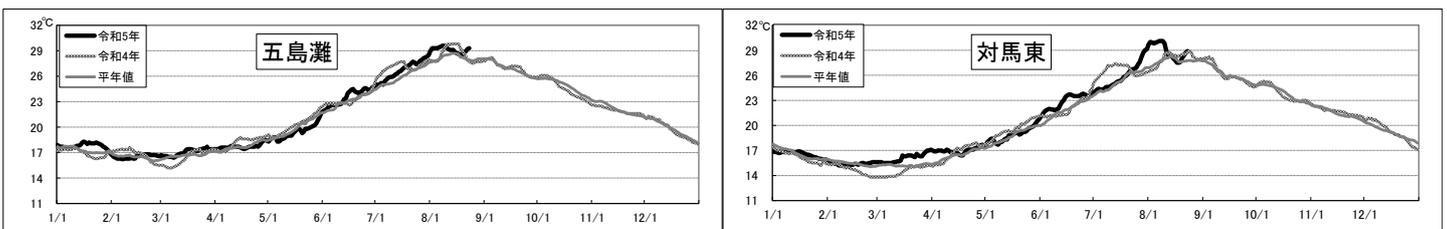
漁海況通信「第5-15号 6県ケンサキイカ情報 (令和5年度 第3号)」 「第5-16号 小トビ (トビウオ未成魚) 飛翔目視結果」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

〔海面水温情報〕 MGDSSST (人工衛星水温) [気象庁発表] より

令和5年 8月 17日～ 8月 23日の平均水温

※人工衛星水温から下記定点水温を抜粋。



	水温	前週差	平年差
対馬東	28.1 °C	-0.4 °C	0.4 °C
五島西沖	29.2 °C	-0.2 °C	0.7 °C
五島灘	28.8 °C	-0.2 °C	0.7 °C